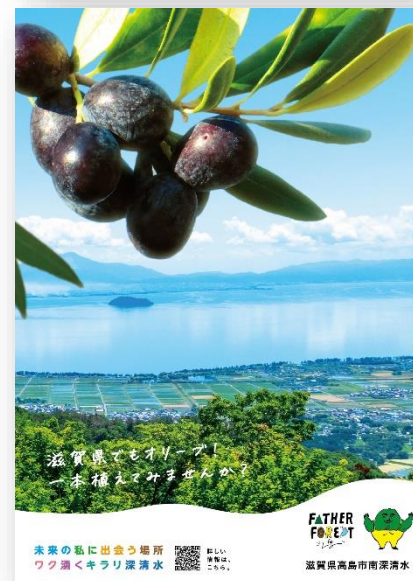
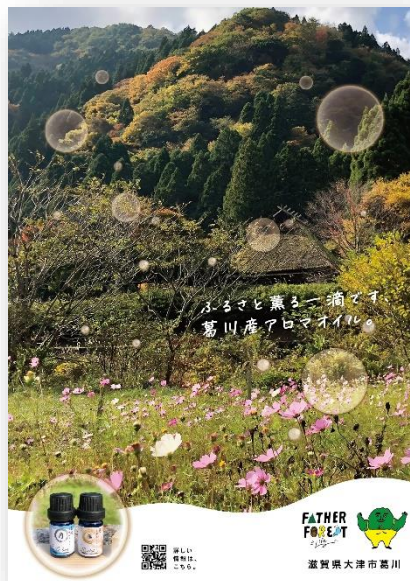


県内の山村地域をそれぞれヒアリングして、その地域を象徴する「一語一絵」のポスターを企画制作しました。これを“魅力の核”として、関係人口の創出につながる取り組みを推進していただきました。



ポスターのテーマを具体的に説明したWEB記事も作成して、ネット媒体や展示パネルに展開しました。

ドローンおじさんが開拓してる
弥三郎ベースで遊ばない?

FATHER FOREST
滋賀県米原市伊吹北部

詳しい情報は、こちら。



ドローンおじさんが開拓してる 弥三郎ベースで遊ばない?



東海道新幹線の米原駅から車を伊吹山に向かって
走らせること、30分あまり。山のふもとから湧き出る
がとぎ軸川をその源流へと遡るように進むと、国道40
号線沿いに「木の駅伊吹」の看板が現れる。

木製、手作りの、なんとも味わい深い看板だ。
矢張り空が青いからか、木が緑からか、この木の駅の
上空を、鳥のように優雅に飛びまわるドローンを見ること
ができるだろう。

そのドローンの操縦士こそ、この界隈でちょっと
有名な“ドローンおじさん”こと伊賀並正信さんである。



どうして、ここをドローンの飛行場にされたのだろう。

「最初は地味でこんなんですが、普通に、
私やめてほしいというのがしばしばある。結構です。
何事も楽しくないと思いませんか? そう言ったら
笑うと伊賀並さんは、「これ付けてみませんか?」と
ヘッドマウントディスプレイを装着して見せた。

装着すると、ドローンに搭載されているカメラが映した
景色が眼前に広がって、視線、まるで鳥になった気分が、
美しい棚田や伊吹山系の美しい森林の緑をダイナミックに
眺められる。

「よし! このままキャンプ場まで飛んでみよう!」空中散歩を楽しんでいると、
傍らで伊賀並さんが楽しそうな声を上げた。そう、このドローンおじさんはいつも笑顔で楽しそうだ。
ドローンはだんだん高度を上げて、やがて、上段地区から林道を800メートルほど進んだ
山の頂上にある、キャンプ場に到着した。



四方を森に囲まれた約3000平方メートルのスペースが
整備され、デッキが敷き詰め、お風呂が設置
されている。ほんとうに「どうしてこんなところに?」と
言いたくなるような場所にある、“ポツンと一軒家”ならぬ
“ワンとキャンプ場”だ。



「ここは私が仲間といっしょに開拓して、造成した深山林キャンプ場です。
いちばんの魅力は、自由に開放感。誰に気がねなく、思いのままに
アウトドアを楽しめます」と、伊賀並さんは解説してくれました。

「近くで深沢釣りや山菜採りもできるし、なんといっても、星が綺麗ですよ。
人工的な光が一切ないから肉眼で肉眼にみても、最高の感覚を味わえます」

目を閉じれば、川のせせらぎ、鳥のさえずり、焚火を眺めたり買ぎながら、都会の喧騒を
離れて、のんびりと家族の友人とプライベートな時間を過ごすことができる最高のスペースだ。

伊賀並さんは地域の市民グループ「里山を守り生かす会」の代表。グループは森林の整備などを
進める滋賀県の「やまの健康」推進事業に採択され、2019年から3年間、林道整備に取り組んだ。
不法伐採されていた里山に中置設備材の設置なども進めながら、道地も舗装。周辺の水
約150本を開通するなどで、このキャンプ場も開拓した。

「2022年の春にはこのスペースで、ジビエ料理の試食や音楽を楽しむ。全国樹林祭を
勝手に応援するイベント“もりぞえ”を開催して盛りだ。なんせ、どれだけ大きな音を出して
出しても、誰にも迷惑ありませんから(笑)。コロナ禍で密を避けることが大事になったし、
ソロキャンプなんかも流行してるから、ここは歓迎だと思ってるよ」



最後に、どうして伊賀並さんは、こんなに熱心に
キャンプ場づくりやドローンに取り組まれている
のかを聞いてみた。

「消防士をやっていたんですが0歳で引退して、
そこを地域のためにできることを自分なりに
楽しもうとやってきました。色々やりましたよ」

伊賀並さん、薪を積み上げながら「例えば、
あそこが薪積みであるでしょう。あれは山から
切り出した木材を地域の慈善団体のために
加工して薪にして売ってるんです。お徳の
ふるさと納税の返礼品にもなってますよ」

強くて、プレミアム薪木ワイドという薪で薪かきになっている。
広葉樹である(な)の木の原料で、「皮を取り除く」というひと手間を加えることで虫が付き
にくく、灰も少ないという高品質。最近人気の薪ストーブ愛好家にも、よく売れているそうだ。
その傍らには、昔懐かしい「屋外五右衛門風呂」なんかもある。

伊賀並さんは開拓したドローン場や深山林キャンプ場・木の駅およびキャンプ場を総称して
“伊吹弥三郎ベース”と名付けている。伊吹弥三郎とは、伊吹山にまつわる伝説で伝説されて
いる伝説の巨人だ。

みなさん、地域おこしの「巨人」伊賀並さんの
楽しいお話を聞いてみませんか?



五感で感じる。湖国のやまに出会う三日間

五感ダイアログ
メソッド vol.3

コンセプト連動した3日間のイベントも開催して、関係人口の“きっかけ”づくりを促進しました。



「Mother Lake」びわ湖。その源流である滋賀のやま「Father Forest」。湖国のやまの、なりわい・暮らしを五感で感じ、地域の活動や人々に出会える3日間です。



入場無料 **会場** グランフロント大阪 北館2F ナレッジキャピタル The Lab. みんなで世界—研究所 アクティブスタジオ

企画展

「やま」のなりわい・暮らしに触れる **定員なし！ 申込不要！**

10/9 10

9日 13:00 - 17:00
10日 11:00 - 17:00

- 「やま」で暮らす人々と出会う【映像・ポスター展示・交流】
滋賀の農山村で暮らし、「やま」の価値を活かして都市とつながる活動を展開する人々とふれあいことで、地域を「知って」「つながる」コーナーです。
- 木こりの日常に触れる【映像・展示】
大阪から電車で約1時間の距離にある滋賀の「やま」。木の香り、チェーンソの音。いつもそこにある「木こりの日常」を体感していただけです。



企業向けセミナー

都市と「やま」をつなぐ 森のコミュニティとつながる **【定員】15名 先着順・事前申込制**

10/11

14:00 - 17:00
(13:30受付開始)

対象 企業の担当者様

サステナビリティに関心のある企業
CSR推進を検討・実施している企業
社会(地域)課題解決に関心のある企業
地域とつながりたい企業
健康経営を推進したい企業 等

内容

14:00-15:30セミナー／15:30-地域の関係者との意見交換
【セミナー内容】
・今、森で起きていること ひとが森に関わる意義
・企業が森とつながるアクションとは
・4つの地域からのプレゼンテーション

セミナー申し込みは
右記QRコードから
(Peatixサイトです)



滋賀県「やまの健康」
イメージキャラクター
やまのおっ山
さん



主催：株式会社エクスプレス 共催：滋賀県
イベント内容等に関するお問い合わせは
a-takatani@express.co.jp まで (担当：株式会社エクスプレス 高谷)

